

第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会  
ポスター・シンボルマーク 選考理由

シンボルマーク

最優秀

島根県立出雲高等学校

2年 わかつきほなみ  
若槻穂波

作成意図

島根県の伝統工芸であるまが玉、「神話の国」出雲地方に伝わる「因幡の白兔」を描き、過去から未来へと伝わる島根の伝統を表現しました。また、叶結びを大きく描き、ひもを円に形作ることで、今回のテーマである「ご縁づくり」を表現しました。



選考理由

第70回島根大会のメインテーマ 「ご縁づくり」～いいご縁をつなごう世界へ、未来の子どもたちへ～ の意味を深く読みとり、優しさの中にも島根県の風土と歴史を大切に、未来につなげていこうとする意志を感じさせるマークである。

青緑の「勾玉」は、縄文時代の古来より島根県玉造で産出されるメノウで作られ、生命・長寿・健康を意味する縁起の良い宝物で、古（いにしえ）から未来へのつながりを意味する。

また、白兔は、出雲大社に「縁結びの神様」として祀られる「大国主命」と「八上姫」との縁を取り持った「因幡の白兔」神話を表している。

メインとなるモチーフは、二重叶（かのう）結びで「よろず願ごとが叶う」という意味が込められ、水引やお守りに使われる縁起の良い飾り結びである。

この「二重叶結び」の組紐の一端に「勾玉」を結び、さらに桜を配した円形（球体）をねじれながら取り囲む様子は、人の「縁」が古から未来に向けて結ばれていく様と、自然や地球環境を大切に守り未来の子どもたちに残そうとする強い意志をも視覚化している。

以上のような理由でこの作品を最優秀作品とした。

ポスター

最優秀

島根県立出雲高等学校

1年 にいのみこと 新野美琴

作成意図

画面真ん中に向かって手を伸ばしていく構図にすることで「全国からPTA役員が集まり、縁を結ぶ」ことを表しました。稲佐の浜に夕日をバックとし、雲の中に松江城、出雲大社を描くことで島根県の名所いくつかが一目でわかるようにしました。また、県花の牡丹で華やかさを添えています。



選考理由

第70回島根大会の開催趣旨に謳われた、『全国の会員が「縁結びの地」島根で出会い、協議を重ね親交を深めていくことで、新たな「ご縁」を生み、大人の「つなげる力」を強めることで、子どもたちが日本のみならず、世界へと豊かな「ご縁」を紡いでいってほしい』という願いの意味を理解し叙情豊かに表現している。

背景に松江城、出雲大社、稲佐の浜、県の花牡丹（ぼたん）を配し、島根県の名勝と豊かな自然を表現し、静かで落ち着いた環境の中で熱気に溢れた大会が開催されることを物語っている。

中心に向かって差し出された手は、その大きさや表情から、年齢や男女様々であることがわかる。それは、全国から集う会員の方々の手であり、また、家庭や家族、人のつながりの暖かさを感じさせる。いずれの手も掌を広げ、隠し事なくすべてをさらけ出し、こころを分かち合い、協議が交わされ、親交を深めてゆく様子が予感される。

大人と大人、大人と子ども、そして子どもと子どもが、ともにつながり「ご縁」を紡ぎ、明るい未来を築こうとする願いと希望が感じられる作品である。

以上のような理由でこの作品を最優秀作品とした。